

## 鹿乗川関連遺跡 発掘調査だより No.9



◎令和4年度の発掘調査が間もなく終わります。

姫下遺跡では、姫下橋の南側（C区）で鹿乗川の旧河道を確認しました。水の流れが減少してやがて沼地になったところへ、付近の集落から土器などが捨てられた状況が確認できました。また寄島遺跡では、竪穴建物跡を調査中です。

今年度は6月から発掘調査を行い、中狭間遺跡や亀塚遺跡では、弥生時代中期後葉～古墳時代前期（約2,000～1,700年前）の集落域や方形周溝墓3基からなる墓域が確認されました。また、平安時代末期（12世紀）の井戸も発見されました。このように連綿と人が生活していたこともわかってきました。

最後になりましたが、長期にわたる通行止め等多大なるご迷惑をおかけしましたが、皆様のご協力が無事調査を終えることができそうです。1年間まことにありがとうございました。

委託者：愛知県埋蔵文化財センター TEL：0567-67-4163（担当：永井、木村）

ホームページ <http://www.maibun.com/>

受託者：安西工業株式会社 現場代理人 TEL：090-3704-3565（中谷）



姫下遺跡（C区）で見つかった旧河道右岸（南から）

・029NR（鹿乗川の旧河道）からは、古墳時代前期（約 1,800～1,700 年前）の土器や梯子（はしご）、流木等が出土しました。



寄島遺跡（D区）で見つかった竪穴建物跡（北西から）

・2 基の竪穴建物跡が重なりあって検出されました。同じ場所で建て替えたものと思われる。